

みんなで考える 定住外国人の日本語よみかき実践

—当事者のエピソードを手がかりに—

「定住外国人のよみかき研究」プロジェクトでは、外国人生活者の日本語による「よみかき実践」に着目し、生活の中で営まれる多様な読み書きの実態を明らかにしてきました。本シンポジウムでは、プロジェクトの成果である「よみかき実践エピソード集」を紹介するとともに、研究者と実践者が対話を通して得た学びや気づきを共有します。そして、研究と実践の「あわい（間）」を見つめ直し、両者をつなぐ新たな協働の可能性を探ります。

2026年 9月27日（日） 10:30～16:30
(9:45開場)

 早稲田大学 7号館207教室
東京都新宿区西早稲田 1丁目 6-1

 東西線「早稲田」駅 徒歩約5分
※公共交通機関をご利用ください

挨拶・趣旨説明 福永由佳 [国立国語研究所]

午前の部 エピソードが語る
10:30-12:30 定住外国人の日本語よみかき実践

話題提供

定住外国人のよみかき実践におけるテクノロジー活用
高民定 [千葉大学]

人的ネットワークを活用する定住外国人のよみかき実践
福村真紀子 [茨城大学]

町内会の回覧板から考える定住外国人の社会参加
福永由佳 [国立国語研究所]

定住外国人のよみかき研究エピソード集のご紹介
神美妃 [早稲田大学大学院生]

午後の部 実践と研究の“あわい(間)”
13:30-16:30

座談会

実践と研究の“あわい(間)”はあるのか？

安田乙世 [日本語教育支援グループことのは]

加藤雅春 [茨城県国際交流協会] 杉山美紀 [愛知県国際交流協会]

*モデレーター
池上摩希子 [早稲田大学]

ディスカッション

実践と研究の“あわい(間)”を超えて、
定住外国人の日本語よみかき実践をともに考える

＼先着100名／

どなたでもご参加いただけます

行政職員、日本語教育関係者、外国人
支援活動者、外国人住民をはじめ、
ご関心をお持ちのみなさまが対象です

お申込み

＼参加費無料／

申込 9月16日(水)まで

※定員に達し次第、受付を終了します

 事前申込みで、当日は手話通訳をつけることができます。
申込フォームより「手話通訳が必要」をご選択ください。

申込フォーム



＼プロジェクトの詳細はこちらで検索／

定住外国人のよみかき研究



▶ お問い合わせ：「定住外国人のよみかき研究」事務局 tagengo0317@gmail.com

主催
後援

国立国語研究所 共同研究プロジェクト「定住外国人のよみかき研究」
公益財団法人愛知県国際交流協会 公益財団法人茨城県国際交流協会
公益財団法人浜松国際交流協会 一般財団法人自治体国際化協会